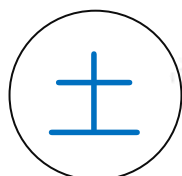


万葉の旅 再発見

—「帰郷した防人」伝承・「妹背山」の成り立ちなど—

12/8



開場 13時00分 開始 13時30分

苫小牧市立中央図書館 2階講堂

講師 森山弘毅 氏 (釧路公立大学名誉教授)

定員 70名 (参加無料・要申込)

お申込 11月1日～ (定員に達し次第締め切ります)

中央図書館各窓口、電話にて受付

苫小牧市末広町 3-1-15 ☎0144(35)0511

万葉の旅を何度か続けていると、旅を契機にして、万葉歌にまつわる現地ならではの新しい発見があります。たとえば「韓衣裾にとりつき泣く子らを置きてそ来ぬや母なしにして」(20-4401)、この父子家庭のような防人が信濃国の故郷へ帰って来てから、村の神社を創建したと伝えられて今に至っています。帰郷した防人が史料に現れることはありません。こうした伝承が生まれてきた源を探ってみます。ほかに「妹背山」の「妹山」は元もと存在しなかったこと、山部赤人の「富士山発見」の位置はどこか、など「万葉の旅 再発見」をご紹介します。